

加工食品の物価及び生産・販売動向

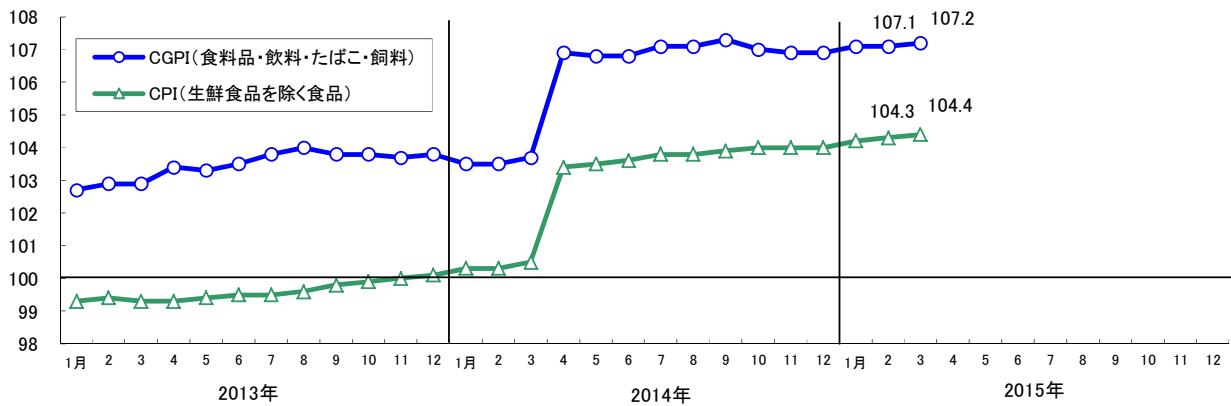
1 加工食品の企業物価及び消費者物価

企業物価及び消費者物価は上昇傾向

加工食品の企業物価指数は、2014年4月からの消費税引き上げにより上昇し、107.2と高水準で推移している。一方、消費者物価指数（生鮮食品を除く食品）は同104.4で、企業物価指数と同様に上昇基調となっている。

図1 加工食品の企業物価指数、消費者物価指数

2010年=100



資料：日本銀行「企業物価指数」、総務省「消費者物価指数」

2 食品製造業の生産動向

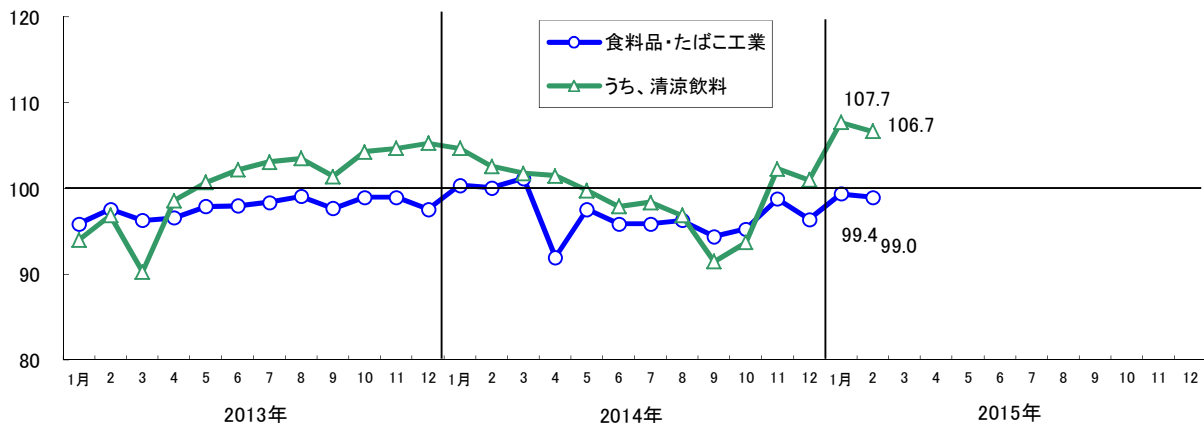
食料品・たばこは前月比で横ばい、うち、清涼飲料は同横ばい

2月の食料品・たばこ工業の生産指数は、99.0で前月比▲0.4%と横ばいとなった。

うち、清涼飲料は106.7で前月比▲0.9%と横ばいとなった。

図2 食料品・たばこ工業、清涼飲料の鉱工業生産指数の推移

2010年=100 季節調整済



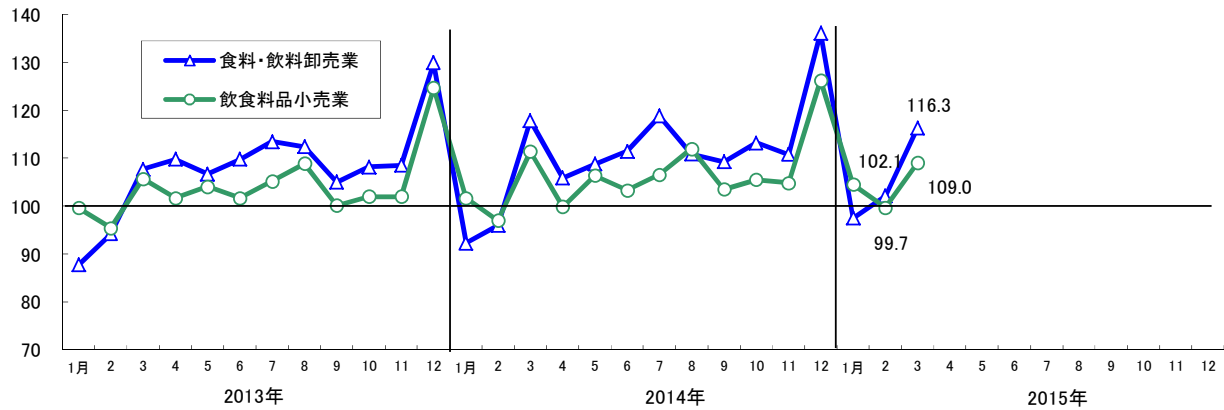
資料：経済産業省「鉱工業生産指数」

3 卸売業と小売業の販売動向

卸売業販売額は対前年同月比でわずかに減少、小売業販売額は同わずかに減少

2015年3月の食料・飲料卸売業の販売額指数は116.3で対前年同月比▲1.4%とわずかに減少した。飲食料品小売業の販売額指数は109.0で同▲2.2%とわずかに減少した。

図3 食料・飲料卸売業と飲食料品小売業の販売動向



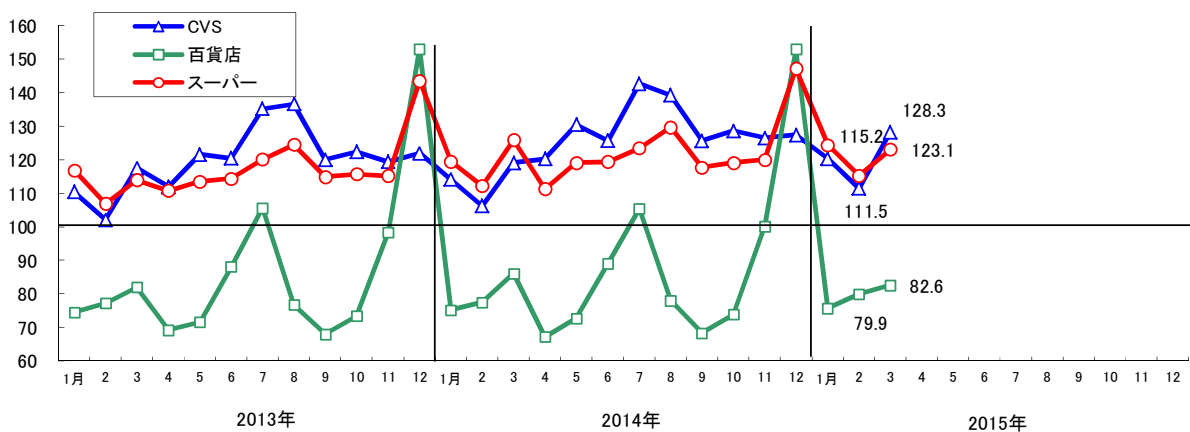
資料: 経済産業省「商業販売統計」

4 スーパー、コンビニエンスストア、百貨店の加工食品の販売動向

CVSは対前年同月比でかなりの程度増加、スーパーは同わずかに減少、百貨店は同やや減少

2015年3月のコンビニエンスストア、百貨店、スーパーにおける加工食品の販売動向についてみると、コンビニエンスストアは128.3で対前年同月比7.7%とかなりの程度増加、スーパーは123.1で前年同月比▲2.2%とわずかに減少、百貨店は82.6で前年同月比▲4.0%とやや減少で、堅調推移していたものの、コンビニエンスストア以外は減少に転じた。

図4 スーパー、コンビニエンスストア、百貨店の加工食品の販売動向



資料: 経済産業省「商業販売統計」

注: コンビニエンスストアはFFと加工食品の合計。百貨店及びスーパーは飲食料品。